

畜産振興

『牛の快適性に配慮した放牧酪農の飼養管理』  
アニマルウェルフェア(AW)認証取得(宗谷管内初)  
道北 池田牧場(浜頓別町)



《 池田 辰実氏 》

【組織等の概要】

- 経営主:池田 辰実
- 農業従事者:4名(経営主、妻、両親)
- 経営面積:100ha(採草地45ha、兼用放牧地30ha、専用放牧地25ha)
- 飼養頭数:乳牛90頭(経産牛60頭、育成牛30頭)
- 生乳生産量:470トン/年(1頭当たり平均7,800kg)
- HP: <http://farm-ikeda.net/>

【取組の成果】

- 牛の健康を優先し負担をかけない飼養方法により、病気・怪我の発生率が飼養頭数の2割未満に抑制
- 牛の除角を生後3ヶ月頃行っていたが、生後1ヶ月に行うため作業が容易

【その他の取組】

- 2019年、浜頓別高校出前授業の講師
- 2019年、農水省職員を酪農体験研修生として受入
- 生産した生乳を使用したアイスクリーム等の製造・販売



【今後の展望】

- AW認証牧場の生乳を加工した乳製品の認知度が高まり、販売量の増加を期待
- 作業の効率化を図るため、自宅から離れた乳製品加工施設を自宅近くに移転
- 畜産GAPの認証取得を目指す
- 離農跡地に第2牧場を作り、そこで雇用した従業員に牧場を継承するシェアミルク(※1)の導入

(※1)シェアミルクとは

ニュージーランドでの農場運営形態の一つで、農場を買う資金がない新規就農希望者が雇用労働者として働きながら酪農の経験と知識等を習得し、その後シェアミルク(共同農場運営者)として農場主との契約で農場運営の業務を分担し、利益と経費を一定比率で配分を受けながら資金を蓄え、独り立ちするまでの前段階のもの

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 2016年1月、父親から経営移譲。放牧酪農の先駆者だった父親の「土と牛の健康を優先する飼い方」を継承し、粗飼料中心で育てた健康な牛の生乳生産を目指す
- ◆ 2018年、一般社団法人日本草地畜産種子協会の「放牧畜産基準認証」を取得
- ◆ 2019年2月、ストレスを与えずに育てられた牛から生産された生乳を消費者から求められているとの考えから「アニマルウェルフェア(AW)畜産農場認証」を取得
- ◆ 2019年6月、AW畜産食品事業所認証取得

アニマルウェルフェア(AW)について

◎AWとは、国際獣疫事務局(OIE)の勧告において、「動物が生活及び死亡する環境と関連する動物の身体的及び心理状態をいう」と定義付け

◎AWIについては、家畜を快適な環境下で飼養することにより、家畜のストレスや疾病を減らすことが重要であり、結果として、生産性の向上や安全な畜産物の生産につながる



《 認証状 》

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 飼養管理指針にある牛の発達状態に応じ必要な栄養を含んだ飼料の給与
- ⇒ 国営農地再編整備事業に併せて放牧酪農に適した草地づくりへの見直し

